

# 患者の皆様へ

2021年4月12日

消化器内科

現在、消化器内科では、内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)関連手技の治療成績に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では ERCP が必要な患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

## 1. 研究課題名

「胆膵疾患における内視鏡的逆行性膵管胆管造影(ERCP)関連手技の診断・治療成績 -後方指視的研究-」

## 2. 研究の意義・目的

現在までの当院で施行した治療成績を解析することで、今後も安全に内視鏡的逆行性膵管胆管造影(ERCP)関連手技を行うための研究です。

## 3. 研究の方法

1976年1月より2021年3月までに胆膵疾患において内視鏡的逆行性膵管胆管造影(ERCP)関連手技が行われた患者様の診療録に記載されている症状、血液検査、画像診断などの記録を調べます。データは、当院消化器内科臨床研究室にて解析を行い、消化器内科臨床研究室のカギのかかるロッカーにてデータを保管します。

## 4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院消化器内科研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。

## 5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

**研究実施機関** : 千葉大学医学部附属病院消化器内科

**本件のお問合せ先** : 医学部附属病院消化器内科

医師 三方 林太郎

043(222)7171 内線6672(消化器内科受付)